

平成23年第3回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

## 1 西の里駐在所の移転について

まず始めに、西の里駐在所の移転についてであります。当初北海道では現在地での駐在所建替えを検討してきたところですが、この度、地元の移転要望等を踏まえた中で、西の里会館横の市有地に移転・新築されることとなりました。

工事につきましては9月中旬から着手し、平成24年2月に完成・開所する予定となっております。

この移転により、国道274号に面することなどから、交通安全や防犯等に効果があるものと期待しているところであります。

## 2 乗合タクシーの実証運行について

次に、乗合タクシーの実証運行についてであります。本年3月に策定した「地域公共交通総合連携計画」に基づき、交通空白地域の「地域の足」確保策として、12月1日から3か月間、南の里、大曲、輪厚、島松、三島、仁別の高齢者を対象に行うことといたしました。

乗合タクシーは、事前登録していただいた方々の予約制により、1日4便を運行し、通院や買い物など日常生活に不可欠な交通手段として活用していただくこととしております。

この実証運行により、利用者のニーズや課題等を整理してまいりたいと考えております。

### 3 北海道国民保護共同実動訓練について

次に、北海道国民保護共同実動訓練についてであります。緊急対処事態発生時における関係機関の初動対処能力の向上のため、11月10日に内閣官房、総務省消防庁、北海道、札幌市、北広島市、石狩市のほか各防災関係機関が参加し、北海道において初めての大規模な国民保護の訓練を実施いたします。

訓練は「北翔クロテック月寒ドーム」を中心に行われますが、本市ではつつじヶ丘公園で情報伝達訓練のほか、行政区域を超える広域避難訓練が実施されるものであります。

今後、地元町内会や北海道等と連携を図りながら準備を進めてまいりたいと考えております。

### 4 地域支え合い体制づくり事業について

次に、地域支え合い体制づくり事業についてであります。北海道の補助金を活用し、現在北海道ガス株式会社から貸与を受けている白樺町の建物を、高齢者を支える地域活動の拠点として整備いたします。

また、認知症高齢者対策のためのコーディネーターを配置し、「認知症高齢者支え合い員」の養成や派遣等を行うこととしております。

このことにより、高齢者の方々が、いつまでも地域で安心して生活を送るための体制強化に繋がるものと考えております。

なお、本定例会において本事業に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

## 5 企業の進出状況等について

次に、企業の進出状況等についてであります。株式会社LIXIL(リクシル)が、平成21年3月に閉鎖した、旧トステム北広島工場を再活用し、9月1日から住宅設備機器の生産・配送等を行う札幌事業所を開設する旨、伺っているところであります。

また、ダウ化工株式会社札幌工場につきましても、平成20年9月に本市での製造を停止し、道外に生産拠点を集約していたところですが、国内の断熱資材需要の増加を受けて、平成24年2月を目途に再稼働させるとのことです。

両工場の再開は、地域経済の活性化や雇用の促進につながるものと期待しているところであります。

## 6 農作物の生育状況について

次に、農作物の生育状況についてであります。石狩農業改良普及センター発表による8月15日現在の状況は、春先からの低温、多雨、日照不足により生育に遅れが生じていたところですが、6月から好天が続いたことや、8月に入ってから、日照時間は1.5倍、平均気温で1.8度と高くなり、水稻、小麦は2日から3日早く、馬鈴薯は平年並みで順調に推移しているとのことです。

本市におきましても、8月17日に市内農業関係機関合同による作況調査を実施し、状況を確認したところであります。

以上申し上げ、行政報告といたします。